

令和7年度 2学期終業式

学校校長式辞



年末となると、みなさんも家の「大掃除」や「ものの整理」をすると思います。先日、ドイツには「人生の半分は整理整頓」ということわざがあることを知りました。これは整理整頓がいかに重要なことを表す「ことわざ」だそうです。整理整頓とは、ものや時間、情報等をきちんと管理して使いやすい状態にすることです。整理整頓を辞書で調べてみると、整理とは「不要なものを処分すること」で、整頓とは「使いやすい場所にきちんと整えて置く」という意味があります。教科書やノート、筆記用具がきちんと整理されいると、すぐに必要なものを

見つけることができます。逆にものが散らかっていると、探すのに時間がかかり、イライラしたりして集中力も下がってしまうこともあります。整理整頓された状態なら、何事にも集中しやすく、効率よく物事を進めることができるはずです。

イギリスの歴史家であるトマス・カーライルにこんな話があります。ある日、一人の女性がカーライルを訪れ、家庭の悩みをいろいろと相談しました。するとカーライルは、その女性の悩みに直接答えずに、「家の裁縫箱を見て、糸が乱れていたらきちんと巻くこと。」「タンスの中を調べて散らかっていたら整理すること。」ということを伝えました。しばらくして、女性がまたやってきて、「あなたに言われたことをやっていくうちに、人生は整理されなければならない」ということがよくわかりました」と言ったそうです。この女性の悩みも一つ一つ整理することで心も落ち着き、時間の余裕もうまれ、問題の解決に向かったものと思われます。

このように、整理整頓は、ただものを片付けるだけでなく、自分自身の生活を豊かにするための手段でもあります。本来ならば日頃から整理整頓を心がけてほしいですが、この年末の大掃除をよい機会に教室の机やロッカー、自分の身の回りの整理整頓を行ってみてください。整理整頓がしっかりとできると自信がつき、周りからも信頼されるようになるはずです。

最後に、年末年始はいつもと違い、気持ちが高ぶりります。ちょっとした間違いや気の緩みが大きな事故につながるので、高校生として冬休みの過ごし方がどうあるべきかを考えて行動してください。そしてみなさん、3学期笑顔で会いましょう。

令和7年度 2学期 防災教育、地震避難訓練

本校では環境防災科を中心に、各学期末に実施しています。災害が起きた時に、自分の体を守り、落ち着いて避難できるようにすることだけでなく、今回は、多様な人が人に対する適切な対応を学び、けが人も含め全員が安全に避難できるようにすることを目標にしました。

